

口腔インプラント外来

▶インプラント治療に興味のある患者さんへ

歯を失って悩んでいませんか？

むし歯や歯周病、事故など様々な原因で歯は失われます。1本だけ失う場合もありますし、数本失う場合、また全部の歯が無くなってしまうこともあります。失った歯が1～2本の場合、隣り合った歯を支えとする「ブリッジ」や「部分入れ歯」などが適応され、全ての歯が無くなった場合は「総入れ歯」を作るのが一般的な解決法として普及しています。

しかしブリッジや入れ歯の場合、患者様から以下のような訴えをよく耳にします。

- ・入れ歯を支える金属製のバネが見えて見た目が気になる
- ・健康な歯を削ってほしくない
- ・食べたものがよく挟まってしまう
- ・入れ歯が安定しないため上手くものを噛めない
- ・食べ物がおいしく感じない
- ・取り外しが面倒である

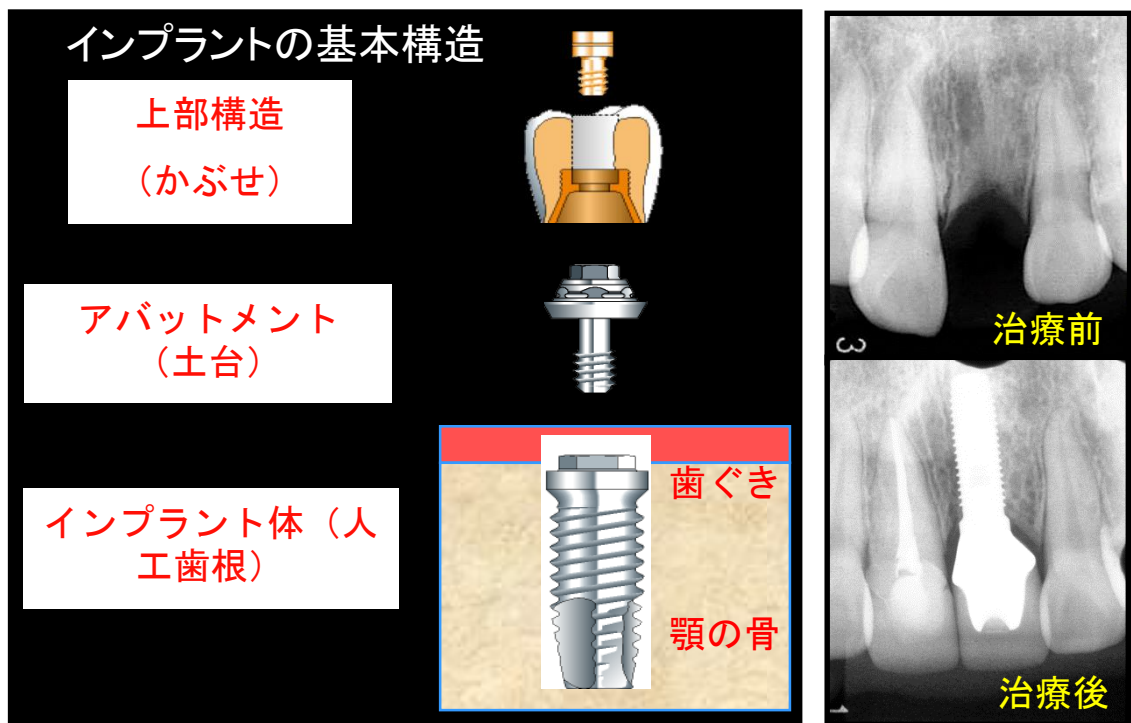
このような問題を抱える患者様のために研究・開発されてきたのがインプラント(人工歯根)による治療法です。

口腔インプラント外来

▶診療内容

口腔インプラント治療とは？

口腔インプラント治療は、歯根のない欠損部の骨の中にインプラント体というチタンの人工歯根を埋め込み、その上に土台をねじ止めし、かぶせる治療方法です。取り外しが必要ない場合が多く、見た目や咬む機能をご自分の歯のように回復できます。費用は1本で約40万円程度です。



口腔インプラント外来

安全に口腔インプラント治療を行うために必要な診査について

レントゲン診査・CT診査

インプラント体を埋入するために骨の量や幅，神経・血管の位置などを詳しく調べます。



レントゲン画像

模型診査

インプラント体の埋入本数，位置などの診査を行います。また，最終的なかぶせやかみ合わせの計画を立てます。



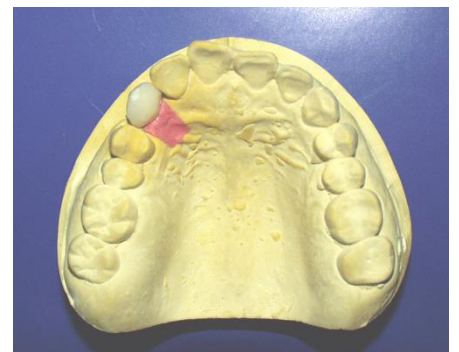
CT解析画像

歯周病の診査

歯周病が悪化していると，インプラント体が細菌に感染するリスクが高くなります。口腔インプラント治療の前に，適切な歯周病治療が必要です。

全身状態の診査

手術を必要とするため，全身の健康状態について血液検査を行います。かかりつけ医で治療を受けている場合は，主治医に問い合わせます。



模型診査

生活習慣の問診

口腔インプラント治療の予後には，喫煙や歯ぎしりといった生活習慣が影響します。

口腔インプラント外来

実際の治療例

多くの歯を失った方も口腔インプラント治療は可能です。人工の歯をインプラント体に固定できるため、取り外しは必要ありません。取り外しの入れ歯で困っておられる方におすすめです。



多くの歯を失った場合に、取り外しの入れ歯を2～4本のインプラント体に固定する方法もあります。患者様がご自身で取り外せるため清掃がしやすく、費用も低く抑えることができます。

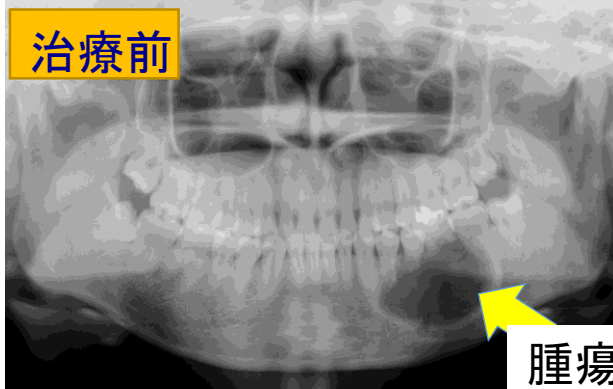


インプラントのアタッチメントに留めている入れ歯

インプラントのアタッチメント(金属の入れ歯を固定する土台)が見えています。

口腔インプラント外来

腫瘍や外傷で歯を失った方は健康保険が適応される場合もあります



治療終了後

左側下顎の腫瘍を摘出後に、骨を移植してインプラント体を埋め込み機能回復を行いました。

健康保険が適応されるかどうかは、担当医にご相談ください。

▶担当診療科

クラウンブリッジ補綴科

咬合義歯補綴科

口腔外科(再建系)

口腔外科(病態系)

歯周科

▶診療日

詳しくは『初診外来診療日割表』をご参照ください

* 紹介状持参の場合はこの限りではありません



OKAYAMA
UNIVERSITY